



自主 自律 自愛

小島中だより



第 13 号
令和 8 年 1 月 22 日発行

第 25 回 青少年意見発表会

1 月 18 日 (日)、長崎県勤労福祉会館にて「第 25 回 青少年意見発表会」が開催されました。中央公民館区の小中学校 17 校の代表が集まる中、本校は 2 年生から代表生徒が登壇し、自らの歩みと決意を語りました。

代表生徒は「合言葉を胸に」と題して、吹奏楽部での活動を通じて得た心の葛藤と成長を、瑞々しい言葉で表現しました。

・**技術への苦悩と祖父の教え** 憧れのフルートを手にしたものの、思うように音が出ない日々に直面。そんな時、熊本の祖父から贈られた「楽しんで吹けばいい」という言葉が、技術に縛られていた彼女の心を解き放ちました。

・**「万里一空」の精神で挑む部長の重責** 学級目標でもある「万里一空」(目的を見失わずに努力し続けること)を指針に、30 名の部員を率いる部長としての孤独や試行錯誤を、地道な努力で乗り越えてきた過程を語りました。

・**悲しみを強さに変えて** 最愛の祖父との別れという大きな悲しみを経験しながらも、その励ましを自らのエネルギーに変え、新たな舞台へ一歩踏み出す強い意志を示しました。

自分の弱さと向き合い、他者の言葉を糧にして強さに変えていく姿は、聴衆に深い感動を与えました。「万里一空」の精神は、今後の人生においても彼女の大きな武器となるはずです。

部長としての責任を胸に、卒業式では「音を楽しみ、感動を呼ぶ」最高の演奏を届けてくれることを、心から期待しています。

笑顔あふれる学校づくり！第 1 回「イベフェス」開催 ～「おみくじを探せ！」ミッションに挑んだ全校生徒～

長崎市中学生議会での議決を受け、本校でも「誰もが笑顔で過ごせる学校」を目指した新たな取組「イベフェス (イベント・フェスティバル)」がスタートしました。1 月 21 日 (水)、イベフェス実行委員の企画による全校イベント「おみくじを探せ！」が開催され、校内に歓声と笑顔が広がりました。

🔍 隠されたおみくじを取り戻せ！3 つのミッション

「隠されてしまったおみくじを見つけ出す」というストーリーのもと、グループで協力して 3 つの難関に挑みました。

- ・第 1 の部屋：宝探し (探索力) 体育館と図書室に隠された「2 つの鍵」を探索！
- ・第 2 の部屋：運ゲーム (直感力) 実行委員が指定したマークをカードの中から当てる運試し。
- ・第 3 の部屋：謎解き (思考力と協力) グループの知恵を絞り、5 つの謎を解き明かす。

全てのミッションをクリアし、ついに全校生徒分のおみくじを発見となりました。そして一人ひとりが今年の運勢を占い、一喜一憂する姿が見られました。

イベントの最後には、実行委員長から「今日はみんなが仲良く協力し、とても楽しかったので、今年の小島中学校は『大吉』です！」という力強い宣言があり、会場は温かい拍手に包まれました。

生徒たちが笑顔で協力する姿を見て、企画の素晴らしさを実感した一日でした。

ちなみに、私が引いたおみくじは……なんと「凶」。しかし、「凶 (今日) は、これ以上悪いことはない」ということ。あとは上昇するのみです！しっかりと守備を固め、前向きに頑張っていこうと決意を新たにしました。



凶
今年
は
守
備